## 脳卒中後遺症のリハビリテーション (リハビリ)について

一般に脳卒中リハビリは急性期、回復期、維持期に分けられます。 <u>当院には回復期リハビリ病棟があり</u>、リハビリを行っていくことで、患者さんご自身が行えること増やし、より質の高い生活を営むことができるよう にお手伝いしています。

今回は、歩行訓練と手の訓練を補助する機械についてご紹介します。

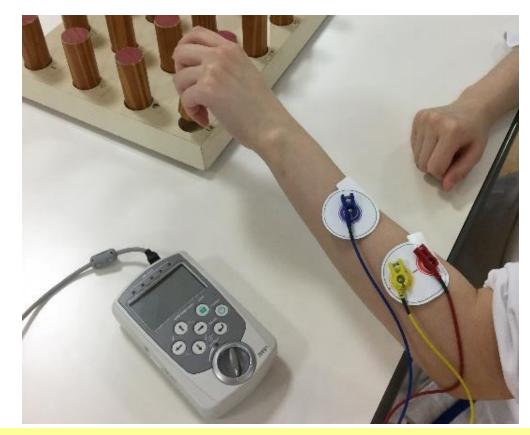
## 山陰初!歩行支援ロボット "ウェルウォーク"

藤田医科大学とトヨタ自動車が 開発した、リハビリテーションで 援口ボット"ウェルウォーク"で 対象となる患者さんは主に脳 対象となる患者とが 事業、大腿骨頸部骨 中、脊髄疾患、大腿骨頸部骨 により片側の足に運動障害 が重度で歩行練習が しい方でも、早期からたくさんの 歩行練習が可能となります。



## 手の機能訓練に "IVES(アイビス)"

麻痺手の筋活動の電気信号を 読み取り、必要な量の電気で、運動を改善して、運動を改善して、運動を改善して、 を持たでするででででででも、 は脳卒中ガイドラインでも激性ででででででする は脳卒中が、 はなる方は脳卒中が、 はなるまさんですが、 まずででででででででででで、 はたっては適応でで、 お気軽にご相談下さい。



早期発見と早期治療が脳卒中後遺症からご自身やご家族を守ることに繋がります。早期発見のポイントは、認定看護師からのお知らせ、

2022年6月号をご参照ください。